

| 科目番号 | 科目名 | 担当者名 | 教養・専門 資格・教職 | 単位数 | 選択・必修 | 開講年次 ・時期 |
|--|---------------------------|---|--|-----|-------|-------------|
| SA3 | ジェンダー論 Study on Gender | 村林 聖子 | 専門 | 2 | 選択 | 2年春 |
| 科目の概要 | | | | | | |
| ジェンダーは、男性 / 女性という区別にこだわっている現実があることを指摘する概念であり、現代社会を考察するために無視することのできない概念です。 講義では、まずジェンダーという概念が生まれた歴史的・思想的背景を紹介し、その後、労働、暴力、家族など、個別の問題について検討します。 ジェンダーというマネジメントに欠かせない視座を得ることが本講義の目的です。 | | | | | | |
| 学修内容 | | | 到達目標 | | | |
| 基本的な知識を理解する。 ジェンダーの視点を養う。 個別の問題を理解する。 ジェンダーの視点から問題を理解する。 ジェンダーという視点の意味を理解する。 | | | 基本的な知識を習得し、適用することができる。 ジェンダーの視点を持つことができる。 ジェンダーの視点から問題を把握することができる。 ジェンダーの視点から考察することができる。 視座を用いて意見を言語化することができる。 | | | |
| 学生に発揮させる社会人 基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | | | | |
| 前に踏 み出す 力 | 主体性 | ジェンダーの視点から現実の諸問題に関心を持ち、自己学修することができる。 | | | | |
| | 働きかけ力 | | | | | |
| | 実行力 | ジェンダーの視点から関心をもった諸問題について質問することができる。 | | | | |
| 考え抜 く力 | 課題発見力 | ジェンダーの視点から問題を見極めることができる。 | | | | |
| | 計画力 | | | | | |
| | 創造力 | 「当たり前」とされていることに疑問を持ち、ジェンダーの視点から考えることができる。 | | | | |
| チーム で働く 力 | 発信力 | ジェンダーの視点から整理した内容を、的確な文章で表現できる。 | | | | |
| | 傾聴力 | 講義や他の受講生の質問内容から理解を深めることができる。 | | | | |
| | 柔軟性 | | | | | |
| | 状況把握力 | | | | | |
| | 規律性 | 他の受講生の受講を妨げない言動をすることができる。 | | | | |
| | ストレスコントロール力 | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | |
| テキスト: 使用しない 参考文献: 適宜指示する 配布資料: あり | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | |
| 本学部で取得できる資格: 教職(高等学校教諭一種免許状 公民)(選択) | | | | | | |
| 学修上の助言 | | | 受講生とのルール | | | |
| 質問票に対する回答を次回の講義の冒頭にしますので、講義内容の理解に役立ててください。 | | | 講義では毎回質問票を配布・回収します。 新聞やテレビなどの報道内容に関心に向けながら講義に出席し、積極的に質問をすること。 他の受講生の受講を妨げないこと。 | | | |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | |
|-----------------------|--------------|-------------------|-------|------|---|---|---|--|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記(レポート含む)実技・口述試験 | | ① | | 仮成績よりもよい成績を望む場合、定期試験期間中のレポート試験を受けることができます。レポート試験課題は、15回目の講義時に提示します。 | | |
| | | | | ② | | | | |
| | | | | ③ | | | | |
| | | | | ④ | | | | |
| | | | | ⑤ | | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | | | ① | | | |
| | | | | | ② | | | |
| | | | | | ③ | | | |
| | | | | | ④ | | | |
| | | | | | ⑤ | | | |
| | | レポート | 90 | | | ① | ✓ | ミニレポートを3回(第6週、第10週、第14週)課します。課題は、基本的な理解ができているか、ジェンダーの視点から問題をとらえ、自分自身の見解を論理的に述べているかを確認するものです。指定する提出期限までにGoogle Classroomで提出してください。15回目の講義で仮成績を示します。仮成績よりもよい成績を望む場合、定期試験期間中のレポート試験を受けてください(上記参照) |
| | | | | | | ② | ✓ | |
| | | | | | | ③ | ✓ | |
| | | | | | | ④ | ✓ | |
| | | | | | | ⑤ | ✓ | |
| 成果発表(プレゼンテーション・作品制作等) | | | | ① | | | | |
| | | | | ② | | | | |
| | | | | ③ | | | | |
| | | | | ④ | | | | |
| | | | | ⑤ | | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力(学修態度) | 10 | | ① | ✓ | 主体性 報道内容や身の周りのことに目をむけることができる。実行力、傾聴力 質問票への記入を積極的に行い、回答をよく聴くことができる。創造力 当たり前だと思わずに疑問を持ち考察することができる。課題発見力、発信力 問題を見極め、それを言語化することができる。規律性 他の受講生の受講を妨げない言動をすることができる。 | | |
| | | | | ② | ✓ | | | |
| | | | | ③ | ✓ | | | |
| | | | | ④ | ✓ | | | |
| | | | | ⑤ | ✓ | | | |
| 総合評価割合 | | | 100 | | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)の基準 |
|--|---|
| <p>基本的な理解ができていること。 ジェンダーという視点から問題を適切に把握していること。 いかにあるべきかを考え、わかりやすく記述できていること。 S(秀)は上記に加え、自らの考えを深め、検討した上で明確にしていること。</p> | <p>基本的な理解がほぼできていること。 ジェンダーという視点から問題を把握していること。 いかにあるべきかを考え、記述していること。</p> |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベル C(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|------|--|----------------------------|--|--|-------|-------------------------|
| 1週 / | 1. イントロダクション 講義の概要を確認する。 2. ジェンダーとは何か (1) SexとGender ジェンダーという概念について学ぶ。 | 講義 質問票の配布・回収 | 講義の概要について理解する。 なぜSexではなくGenderという言葉で性の区別について語ろうとするのか理解する。 | (予習) シラバスを確認しておく。 (復習) ジェンダーという概念をおおまかに理解しているか確認する。 | 90 | 主体性 創造力 規律性 |
| 2週 / | (2) 男性 / 女性という区別 性同一性障害特例法について学ぶ。 | 質問票への回答 講義 質問票の配布・回収 | 男性 / 女性という区別について批判的に理解する。 性同一性障害特例法の内容と課題について理解する。 | (予習) ジェンダーという概念の内容について確認しておく。 (復習) 性同一性障害と特例法の内容について確認する。 | 180 | 実行力 傾聴力 創造力 |
| 3週 / | (3) 世界の動きと日本 男女共同参画社会基本法について学ぶ。 | 質問票への回答 講義 質問票の配布・回収 | 人権保障についての歴史を理解する。 男女共同参画社会基本法の内容と課題について理解する。 | (予習) 性同一性障害と特例法の内容について確認しておく。 (復習) 基本法の内容について確認する。 | 180 | 実行力 傾聴力 課題 発見力 |
| 4週 / | 3. 労働とジェンダー (1) 日本の状況 | 質問票への回答 講義 質問票の配布・回収 | 労働をめぐる日本の状況について理解する。 | (予習) 基本法の内容について確認しておく。 (復習) 労働をめぐる日本の状況について確認する。 | 180 | 実行力 傾聴力 発信力 |
| 5週 / | (2) 男女雇用機会均等法 男女雇用機会均等法について学ぶ。 | 質問票への回答 講義 質問票の配布・回収 | 男女雇用機会均等法の内容と課題について理解する。 | (予習) 労働をめぐる日本の状況について確認しておく。 (復習) 均等法の内容について確認する。 | 180 | 実行力 傾聴力 課題 発見力 |
| 6週 / | (3) 育児・介護休業法 育児・介護休業法について学ぶ。 ミニレポート | 質問票への回答 講義 質問票の配布・回収 | 育児・介護休業法の内容と課題について理解する。 | (予習) 均等法の内容について確認しておく。 (復習) 育児・介護休業法の内容について確認する。 | 180 | 実行力 傾聴力 課題 発見力 |
| 7週 / | 4. 暴力とジェンダー (1) 性暴力 性的自己決定権と性犯罪について学ぶ。 | 質問票への回答 講義 質問票の配布・回収 | 性暴力について理解する。 | (予習) 育児・介護休業法の内容について確認しておく。 (復習) 性暴力について確認する。 | 180 | 実行力 傾聴力 課題 発見力 |
| 8週 / | (2) DV DV防止法について学ぶ。 | 質問票への回答 講義 質問票の配布回収 | DVとDV防止法について理解する。 | (予習) 性暴力について確認しておく。 (復習) DVと防止法の内容について確認する。 | 180 | 実行力 傾聴力 課題 発見力 |

| 回数 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベル C(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|-------|--|----------------------------|---------------------------------|---|-------|-------------------------|
| 9週 / | (3)ストーカー ストーカー規制法について学ぶ。 | 質問票への回答 講義 質問票の配布・回収 | ストーカーとストーカー規制法について理解する。 | (予習)DVとDV防止法の内容について確認しておく。 (復習)ストーカーと規制法の内容について確認する。 | 180 | 実行力 傾聴力 課題 発見力 |
| 10週 / | (4)セクシュアルハラスメント ハラスメントと男女雇用機会均等法について学ぶ。 ミニレポート | 質問票への回答 講義 質問票の配布・回収 | セクシュアルハラスメントと男女雇用機会均等法について理解する。 | (予習)ストーカーと規制法の内容について確認しておく。 (復習)セクハラと均等法の内容について確認する。 | 180 | 実行力 傾聴力 課題 発見力 |
| 11週 / | 5. 家族と法 (1)婚姻 婚姻と民法について学ぶ。 | 質問票への回答 講義 質問票の配布・回収 | 法律婚と事実婚、異性婚と同性婚などについて理解する。 | (予習)セクハラと均等法の内容について確認しておく。 (復習)日本における婚姻について確認する。 | 180 | 実行力 傾聴力 課題 発見力 |
| 12週 / | (2)親子 親子と民法について学ぶ。 | 質問票への回答 講義 質問票の配布・回収 | 親子という関係、生殖補助医療について理解する。 | (予習)日本における婚姻について確認しておく。 (復習)日本における親子と生殖補助医療について確認する。 | 180 | 実行力 傾聴力 課題 発見力 |
| 13週 / | (3)親子:母子関係 母子関係について学ぶ。 | 質問票への回答 講義 質問票の配布・回収 | 代理母など母子関係について理解する。 | (予習)日本における親子と生殖補助医療について確認しておく。 (復習)母子関係について確認する。 | 180 | 実行力 傾聴力 課題 発見力 |
| 14週 / | (4)親子:父子関係 父子関係について学ぶ。 ミニレポート | 質問票への回答 講義 質問票の配布・回収 | 精子提供など父子関係について理解する。 | (予習)母子関係について確認しておく。 (復習)父子関係について確認する。 | 180 | 実行力 傾聴力 課題 発見力 |
| 15週 / | 15. まとめ 講義全体をふりかえる。 仮成績を提示 レポート試験課題の提示 | 質問票への回答 講義 質問票の配布・回収 | 講義全体の内容について理解する。 | これまで配布した資料を踏まえ、試験問題に取り組むこと。 | 270 | 主体性 創造力 発信力 |

能力名: ①主体性 ②働きかけ力 ③実行力 ④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力 ⑦発信力 ⑧傾聴力
⑨柔軟性 ⑩情況把握力 ⑪規律性 ⑫ストレスコントロール力